

～ W H S 交流 ～

コロナにより途切れていた、オーストラリアの姉妹校 Warwick State High School (ウォリック ステート ハイスクール) との交流事業が久しぶりに再開し、歓迎会そして学年ごとの交流会を行いました。

歓迎会で司会を務めたESS部や、演奏を行った吹奏楽部の皆さん、緊張の中でも3年生として堂々とやりきった姿はすごくカッコ良かったです。

学年の交流では、書道で漢字を書くときに指で一画ずつ指示をしたり、けん玉のコツや折り紙の折り方を教えるのにジェスチャーを使ったりニュアンスが近い言葉に変換したりと、工夫しながら言葉の壁を越えていく姿が印象的でした。言葉は通じなくても、気持ちは伝わるのだと感じました。



～ 最高の合唱に向けて ～

昨日、2回目の学年リハーサルをしました。クラス合唱は1回目よりも良くなり、学年合唱も、らしくなってきました。いよいよ明日は本番です。ここで、もう一度確認しましょう。

みなさんはどんな姿を見せますか？ どんな合唱を聴かせますか？

入場したときに、フラフラ、キョロキョロするのが、3年生らしい姿でしょうか。自分は声を出し切らず、よく声を出してくれる仲間に任せておくのが3年生らしい合唱でしょうか。申し訳ないですが、「これくらいでいいかな」のような雰囲気さえ感じてしまいました。

あなたの本気の力を発揮するのを邪魔しているものは何ですか？

みなさんの力を、今回は『合唱』を通して発揮し高めようとしています。来月は『スポーツ』を通して発揮し高めようとしています。3学期は『受験』を通して発揮し高めようとしています。物が違うだけで、根本は同じです。

“一生懸命”はものすごくカッコいい。中途半端にやって、終わってから言い訳したり後悔したりするのはすごくダサいです。あなたの120%の力を発揮してください。

前回の通信でも書きましたが、合唱は、そのメンバーでしか奏でられない唯一無二の素敵な演奏です。人生で今年が最後の合唱になる人もいます。中学校最高学年として、最高の合唱で締めくくりませんか？

どのクラスにも、最高の合唱に向けて努力し続けてきた人たちがいます。みんなを引っ張ろうとしてきた人たちがいます。それに応えようとしてきた人たちがいます。最後、全員の気持ちを同じ方向に向けましょう。音楽を通して、気持ちは伝わります。

- 人に頼らず、**自分の声**をしっかり出しましょう！
- 口と喉を開いて、倍の声を**響かせ**ましょう!!
- 今日まだ音程を外してしまう人は、曲を何回も聞いて補正してください!!!
明日の朝の最終リハに間に合います。
- 目の前の人たちに、合唱で語りかけましょう!!!!
- 目の前の人たちに、**本気**の合唱を聴かせて、**鳥肌**を立ててやりましょう!!!!



<各曲の思い>

1組「あなたへ -旅立ちに寄せるメッセージ」

人生には喜びだけでなく悲しみや憎しみもある。うれしい時間もつらい時間も永遠に続くものではない。その先には信じ合える喜びや優しさに辿りつくだろう。だから何があっても「生き抜いて」ほしい。

小学校の音楽の先生が卒業生へのメッセージとして作詞・作曲。

2組「手紙 ～拝啓 十五の君へ～」

大人になっても苦しいこと、悲しいこと、辛いことはなくなれないけれど、その痛みや苦しみを振り返った時に、「あの出来事には、こんな意味があったんだ」と思える日が必ず来る。“ing”で“～し続ける”ことが大切。

思春期の悩みを30才の未来の自分へと宛てた手紙を元に、30才になったアンジェラ・アキが作詞・作曲。

3組「地球の鼓動」

苦しい時も、めげそうな時も、花も、鳥も、星も、雪も、波も、風も、海も、地球も、いつもかわらずに、君を包んでくれている。きみは一人じゃないよ。地球の鼓動が、聞こえてくるだろう？

作詞家 弥勒（みろく）が、中学生に伝えたいメッセージとして、2年ぶりに作詞した渾身の作品。

4組「友～旅立ちの時～」

答えのない人生を歩む上で、誰しも迷い、立ち止まることがあるけれど、周りをよく見れば、助けてくれる人・支えてくれる人がそばにいる。そのことに気付くと、とても心強い気持ちになれる。

東日本大震災の直後、スタッフを勇気づけるためにゆずが作詞・作曲。

学年「栄光の架橋」

他人には見せないだけで、誰もが悔しさや怖さ、そしてもどかしさを感じる時がある。やめる選択や他の道に行く選択も出来たはずなのに、それでも諦めずここまで進んできたのは、涙や迷い以上に譲れない何かが自分の中にあったから。架橋の向こう側には、まだ見ぬ場所があり、またその場所には先に進む為の新しい架橋があるはず。これからも自分が行きたい場所に辿り着く為の幾つもの架橋を渡って行こう。

『アテネオリンピック中継』のためにゆずが作詞・作曲。